

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成30年2月16日 午後 1時27分
- 2 閉 会 平成30年2月16日 午後 3時52分
- 3 場 所 総合福祉センター2階 教養研修室
- 4 出席又は欠席した委員
出席委員
教育長 山 中 榮 輔
教育長職務代理者 米 谷 正 造
委 員 林 直 人
委 員 小鍛治 一 圭
委 員 三 宅 眞砂子
委 員 上 岡 仁
- 5 会議に出席した者
教育部長 服 部 浩 二
参事兼庶務課長 弓 取 克 哉
学校教育課長 北 川 和 美
こども夢づくり課長 西 村 佳 子
生涯学習課長 横 田 優 子
文化課長 永 田 忠 幸
学校教育課主幹 下 山 郁 子
庶務課課長補佐 岩 佐 知 美
- 6 会議録署名委員
山 中 榮 輔 林 直 人
- 7 付議事件
議案第 6号 平成29年度総社市一般会計補正予算（第6号）について 原案可決
議案第 7号 平成30年度総社市一般会計当初予算について 原案可決
議案第 8号 総社市幼稚園保育料条例の一部改正について 原案可決
議案第 9号 総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について 原案可決
議案第10号 総社市学校管理規則の一部改正について 原案可決
議案第11号 総社市立学校職員服務規程の一部改正について 原案可決
議案第12号 総社市保育士支援金支給要綱の一部改正について 原案可決
承認第 1号 校長の勤務評価について 原案可決
- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後1時27分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案7件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、林委員にお願いします。

なお、議事の都合により、承認第1号については、本日の日程の最後に審議したいと思いますので、ご了承願います。

山中教育長 では、まず、議案第6号「平成29年度総社市一般会計補正予算（第6号）について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第6号について、質問はありませんか。

（質疑なし）

山中教育長 お諮りいたします。議案第6号について原案のとおり可決してよろしいか。

（異議なし）

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第6号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 次に、議案第7号「平成30年度総社市一般会計当初予算について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第7号について、質問はありませんか。

【質疑・答弁】

林委員 分からないのでちょっと教えてください。まず庶務課のほうの、学校施設の長寿命化計画の策定で、長寿命化というのはいったい何年ぐらいの計画なのか、参考までに教えていただけたらということが一つと、学校教育課のほうで、ひきこもり支援事業というのがありますが、このひきこもりを学校教育課で担当するその定義というか、どのように考えて、どのようにしようとしているかという、その2点について質問します。

弓取庶務課長 長寿命化ということでございますが、耐震がほぼほぼ終わって、これからは今ある学校施設を改築するのではなく、これから壊れるであろうという部分をきめ細やかに調査して行くものでございます。ですから築何年のものを何年と言うのは、学校によって、またコンディションによって非常に難しい部分があると思います。専門家がこれから様々な角度からまずは調査して、それから現在築30年40年経っている建物をさらに延命措置をしていくという形でございまして、正式にこれを何年延ばすということはまだ結果が出てみないと分からない部分もあります。

山中教育長 この計画の趣旨は、壊れたから直すということではなく、壊れないように寿命

を延ばすということなんです。例えば樋ですが、昔はトタンでやっていて、穴が開いてから直すとか、プラスチックにすると後々壊れて、というやり方でした。これを、少し高くても寿命の長いものに替えていくことと、今のスペックで直すのではなく、壊れた時にもう少し寿命を延ばせるようなコンディションでやるというふうにしようというものです。例えば車もそうですね。普通の鉄板でもトタン屋根とそれからガルバリウム鋼板では全然違いますから、そういう具材を替えていくようなことを考えると、そういうところをこれからやっていくということなんです。

北川学校教育課長 続きましてひきこもりの定義というご質問でございますが、総社市としては、義務教育終了後、約半年間社会とのつながりのない状態が続いていることをもってひきこもりという定義をしているようです。この予算がなぜこちらに計上されているかにつきましては、今日お配りしているこの資料「福祉王国プログラム」の8ページをご覧ください。この部会は「ひきこもり支援部会」で、福祉課が主管している部会ですが、この一番右下、ひきこもりの要因になる可能性の高い不登校状態。これを何とか、手厚くできるのは義務教育ということで、ひきこもり予防と着目しまして、これに予算を計上しているということでございます。以上です。

山中教育長 具体的にはどういうことをやるんですか。

北川学校教育課長 県費補助で頂いている登校支援員は、学校付きで不登校傾向にあるお子様をフォローするのですが、この派遣登校支援員というのは、それだけでは抱えきれない、各学校におられるさらなる不登校状態にあるお子様等々にもタイムリーに機動力を持って対応できるように、要請を受けた学校に派遣され、保護者やお子さんと一緒に学校に行くサポートをしている状態でございます。

山中教育長 よろしいでしょうか。

林委員 ひきこもりと言うのではなくて不登校の子供達。長期化している、それとも学校がちょっと支援をお願いしますというような形で、申し出があったところに行くという話ですね。「ひきこもり支援事業」、この名称だと、ひきこもりを支援するというような。

山中教育長 名前がよくない。

林委員 ここに予防とか、対策事業とか何か。

山中教育長 そうですね。ひきこもり防止。ひきこもりになってしまった人を支援するという意味ですが、防止も含めた意味合いがあれば。ご指摘の通りです。

服部教育部長 予算上の事業名は自由に作れます。紛らわしいというか事業名として違和感があれば、これはちょっと技術的な面になってくるので。予算書を作る時に少し考えます。

山中教育長 ありがとうございます。他にご意見はありませんか。

米谷委員 庶務課の事務局費で学校自由枠交付金が新たにできたというお話だったんですけど、これをやるとした理由やどういうふうな使い方ができるのか教えていただければと思います。

弓取庶務課長 今回、一括交付金という名前を自由枠交付金という名称を変えただけでありまして、内容自体は変わっておりません。

山中教育長 他にご意見はありませんか。

上岡委員 よろしいですか。4ページの学校力向上教員加配事業ですが、小・中合わせて人数はどのぐらい予定されているんですか。

北川学校教育課長 この学校力向上教員加配事業、それから上から3つ目にある学校教育一般事務経費 外国語指導助手等、いわゆる市費臨時職員等々含めると、総計99名です。

上岡委員 総計ではなくて、教育支援員は何人、補助員は何人、小学校は何人、中学校は何人というような。

北川学校教育課長 特別支援教育支援員が11名、特別支援教育支援補助員32名、生徒指導員3名、別室登校指導員3名、スクール・カウンセリング・チーフ補助員3名、教科指導6名、日本語指導講師1名、学力向上担当1名、養護事務補助員5名です。

山中教育長 コピーをお渡したほうが分かりやすいでしょう。

北川学校教育課長 はい。後ほどコピーをお渡します。

山中教育長 内容が多岐にわたっていて、趣旨がだいぶ違うんですね。学校へお願いしている部分とふれあい教室がやっている部分など、きちんと体系的に並ぶようにして後で資料を渡したほうが。

林委員 よろしいですか。ひきこもりの事があったんですけど、学校適応促進事業の中でもひきこもり対策を今までもしていましたね。それとの兼ね合いはどうなるんですか。

北川学校教育課長 学校適応促進事業、いわゆるふれあい教室のほうには、今までと同じように主任指導員、指導員、それからカウンセラー2名の配置は今まで通りです。不登校状態になって学校に行けないお子さんが中心となって通っておられます。その中の一部に、ふれあい教室を含めた教育支援センターというものを昨年度末立ち上げまして、そこに派遣登校支援員という名称で1人配置をいたしました。この派遣登校支援員は、ニーズがない場合はその指導員等と一緒にふれあい教室にやってくるお子様のサポートをしますが、ニーズがある場合、呼ばれた学校に行きケースに応じてケース会議、あるいはその親御さんと話をしながらサポートして行くと、そういう形をとっております。

山中教育長 全体感が分からないので、例えばふれあい教室でサポートしている部分と、新しくできたきらり。現状と、それをどうまとめていくかというのをこの前作ったと思うので、それをきちっと整理をして、もう一度次回に示したほうがいいと思います。

北川学校教育課長 分かりました。

山中教育長 支援を必要とする子どもの比率がすごく上がってきていて、医療関係で診断書が出た人達を我々がそのとおりにしないということに対する抵抗があります。支援学級に入れたらいいというわけでもない。支援学級入級比率は、岡山県は国全体の3倍、4倍ですね。医療関係と連携が必要です。

山中教育長 他に何かありませんか。

林委員 参考の為にいいですかね。今回、予算が300億を超えるというお話があります。通常よりかなり、去年に比べても40億弱増えてますね。そういう場合市は組織としてどういうふうに考えて予算措置をやるんですか。今までとだいぶ支出が増えますが、そういう時どういうふうに対応していくんですか。

服部教育部長 今回の教育関係、学校であったり調理場であったり、その必要なもの、そのタイミングによってやらないといけないものはやらなければならないので、歳出のほうは計画通りやります。それに見合う財源は確保するんですが、大きな箱物はここで思い切ってやろうといった原因の一つは、少し触れましたが合併特例債、市町村合併に伴う非常に有利な借入制度が残っておりまして、今の資金繰りの中で一番有利な、これ以上ない方法がまだ使えるということで、それを最大限活用すれば、借り入れではあるんですけども負担が非常に少なく済む。後年度の負担も平準化されるということもありまして、それを思い切って利用してこういった大きなものという判断です。大きなスポット的な事業についてはそういった財源がうまく確保できればいいのですけども、教育費はどちらかというと未来への投資ということがありますけれども、これからの医療、福祉、介護というのは、今困っている人に対する措置、経費といいますか、その今困っている分というのは漸増状態でありますので、それをいかに少しでも抑えて、投資的なハードでもそうです、教育でもそうです、投資的な物に回せるのかは財政の運用、工夫の部分であります。今回はかなり特殊な要因があって大きく膨らみましたけれども、通常ですとほぼ270億前後ぐらいで推移しているので、多分来年度はそういった形にいったん戻ると思います。また例えば大きなハード、例えば庁舎を建て替えるといった事業がありますが、そういった数十億単位のものがどこかのタイミングで出た時は、財源を崩しながらその時その時予算を立てていきます。確かに財政状況は決して楽ではないというふうに思っております。税収そのものは、固定資産税とか少し上向き加減の状況がありますけれどもこれは波が有りますし、国からの地方交付税は総社市は60億ぐらいもらっておりますが、これは絞られてくるというふうに思います。ふるさと納税がいくら頑張っても今でも5億、6億ぐらいですので、やはりやりたいこと、やらないといけないことがたくさんあるのだけれどもお金が無いという傾向が続いていきますので、どこで我慢できるのか、あるいは先程の医療、介護の問題は、予防的な事業で少しでも圧縮できないかなど。歩いて得する「歩得事業」というのを実は今回盛り込んでおりまして、歩くことで健康を維持して欲しい。介護とか医療とかをなるべく使わないように健康づくりを積極的にやっに行こうというようなことも盛り込んでおりますので、あの手この手で経常的な経費を少しでも抑えられるように、一方で少しでも有利な財源とか税収も含めて確保して行って、収支のバランスをとりながらやっていくと。所管課のほうで考える部分ではありますが、使う一方の我々もどういう事ができるかということをやっぱり考えていかなければならないかなど思っております。

山中教育長 非常に単純に言うと、市の予算は全体で500億ぐらいです。その中で特に高齢者に使う比率が増えて行くので、健康寿命を延ばそうということがあると思います。それともう一つは、どのようにして若い人達、子供達に投資をしていくか、非常に難しいです。コンディションがどんどん悪くなっているから、今の状態のようなやり方ではとても無理で、将来に向かってずっと投資が出来るのか。インカムとアウトプットのバランスはとらないといけない。やりたいことはあるけど必要経費が多いので、そこが市長のしんどいところでしょうね。

米谷委員 今の「歩得」の話なんですけど、今度始まるんですよ。始める前にどういう状況だったのかということとちゃんと検証してその後を見ないと、元々私みたいに普段から動いてる者が動いても結局健康寿命は増える訳ではないので、そのあたりをちゃんと、始める時にやられた方がいいと思います。

山中教育長 定量的に調べる。

米谷委員 それから、運動されている方がやるとどうなるのかということも併せて検証してやらないと、やりすぎて怪我をすることもあるし。やはり本当に抑えようと思うなら、そういうちょっと細かいところにも手を入れながらやられた方がいいかと思います。

山中教育長 了解しました。

弓取庶務課長 歩得でございますが、プログラムの最初のページに記載させていただいております。申し込む際にご自身の体の状況を記入するようになっておりまして、単年で終わらせることなく経年で追いかけていくような事業になっておりますので、そういったところで検証していくということで、ご理解いただきたいと思います。

米谷委員 どういう状態を見せるのか。嫌だったけどこれをきっかけにやり始めたとか、そういうところが一番大事だと思うので、よろしく願いいたします。

弓取庶務課長 やっている方はすでにやられているので、「え、あの人のがこれを始めた?!」というところが幅広くPR出来れば、もっと市民に輪が広がっていくと思いますので、それは担当課にも伝えますし、我々も広げていかねばならないと思っております。

山中教育長 よろしいでしょうか。ほかにご質問がありましたらお願いします。

小鍛治委員 通学路整備事業というのは、学校から通学路を調べて、それで要請があつて、直していくんでしょうか。

弓取庶務課長 今まではだいたい土木担当員と学校が現場を見て、要望をいただくと、教育委員会自体は予算を持っておりませんでしたので、それを各担当部署、特に多いのは地域応援課へお願いしていたという状況でございました。今回、地域力ということで、地域隅々まで環境を整えていくというところの予算付けの中で、総枠1億円という枠を設けて、その内の1500万円を教育委員会の中に地域予算として付けていただき、通学路特に学校からのこれも要望になりますし、土木担当員さんとも話をしなければいけないと思いますけど、本当に危ないところ、急を要するところをある程度エリアを決めたような状態で整備を進めて、

目に見えるような形で行いたいと30年度考えているところでございます。特に道路の線が消えている、白線の内側にちょっとした緑色を塗るだけで、歩行者がここを通る、車がこちらという線引きがはっきりして事故が減少している事例もございますので、そういったいろんな方法で、交通事故の無いような安全な通学路を作っていく。あとは水路が非常に多い地域もございますので、県南程ではないと思うのですが、やはり総社もちょっと奥に入ると、水路等がたくさんありますので、そういったところにも防護柵をエリア的に決めて設置していきたいと思っております。

上岡委員 6ページの幼稚園費で、幼稚園の講師の先生は減る方向にありますでしょうか。僕も林先生もいつも責められていたんです。幼稚園の講師の先生が正規の先生に代って欲しいというのが、市民の願いなんです。

西村こども夢づくり課長 こちらとしましても正規の先生が一番いいと思っております。現在、退職する先生方が減っている中、今回30年度につきましては、プラス1の職員をしていただいたところでございます。今後、50代で園長先生になられる方がほとんどいらっしゃるため退職者が毎年出ない形になりますので、その時にまた毎年少しずつでも採用していただけるように、こちらといたしましてもお願いしていきたいと思っております。

林委員 ちなみに来年度は幼稚園の講師の先生は何人になる予定ですか。

西村こども夢づくり課長 転入や転出がありまして、今はまだクラスや人数がはっきり決まっておきませんので、もう少ししましたらご報告いたします。

山中教育長 他にご意見はありませんか。

山中教育長 お諮りいたします。

議案第7号について原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第7号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 次に、議案第8号「総社市幼稚園保育料条例の一部改正について」事務局から説明願います。

西村こども夢づくり課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第8号について、質問はありませんか。

(質疑なし)

山中教育長 お諮りいたします。

議案第8号について原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第8号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 次に、議案第9号「総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について」事務局から説明願います。

北川学校教育課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第9号について、質問はありませんか。

【質疑・答弁】

山中教育長 図面持ってきたほうが分かりやすいでしょう。

服部教育部長 放課後児童クラブが学校の敷地内をお借りして、プレハブといたら工事みたいですけど、基本的には綺麗な高級なプレハブのような形で思っております。駐車場工区も一棟学校敷地内にあったんですけどどうしてもこれが足りないという事がはっきり分かってきましたので、隣接するところにもう一棟作らしていただいたということです。

林委員 北小にもたしか何人か行ってましたよね。当然その子達も解消しますよね。30名なら。

服部教育部長 隣接地区の利用とか、いわゆる欠席ローテーションで休んでいたものというのは解消されます。放課後児童も、その小学校区の子供の増減にすごく連動してまして、今までは山手とか常盤とかが多かったのが、中央小学校区、それも井尻野の少し北方面とかが開発がどんどん今進んでおりまして、そうすると子供さんが入ってくるようになります。なかなか子供数も正確な推計は難しいですけども、色々な状況を聞くと、放課後児童の希望も多いということもあるんですが、子供そのものもかなり中央小学区はこれから動くのかなというのもありまして、思い切って先に手を打ったということです。

山中教育長 よろしいでしょうか。他にご意見ご質問ありませんか。

山中教育長 お諮りいたします。

議案第9号について原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第9号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 次に、議案第10号「総社市学校管理規則の一部改正について」事務局から説明願います。

西村こども夢づくり課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第10号について、質問はありませんか。

【質疑・答弁】

上岡委員 とってもいいことで、ちょっとでも負担軽減になればいいと思います。範囲というのは、月単位等での届出が可能ということ。それがどういうふうなのかな。

西村こども夢づくり課長 行事の前日までに出していただくようになるので、それが1か月ごとでもよいですし、1年間で決まっているのがあれば1年間の計画を全部とりあえず出していただいて、その後に訂正をしていただく部分があれば又全体を提出していただくという形で手間を減らそうとしております。

上岡委員 そんないいことをなんで小学校と中学校は出来ないのですか。

山中教育長 やりましょう。業務が多すぎるものね。

北川学校教育課長 ありがとうございます。正に働き方改革に通ずる改善だと今お聞きして思いました。幼稚園より随分数は少ないのは事実でありますけれども、少しでもそういった改善を進めていくべきかと思っておりますので、検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

林委員 届出制で、届けばいいっていう話ですね。何のために届けるのかなということになって。ある程度責任というのは、教育委員会側にもあるという事かなと思ったりもするんですけども、そういった時に計画に不備があるとかそういうふうなものがあったら当然それは指導したり場合によっては止めさせるという話になるかもしれません。引率の人数が非常に少ないとかそういうところは、届出はどういうふうに考えていったらいいのかなと思えます。どうなんでしょうかね。

西村こども夢づくり課長 林委員さんがおっしゃいましたとおり、やはり教育委員会は知っておくべき行事でもあると思えます。遠くへ行く場合には安全でないといけないし、その時にどういう人が付いて行くのか、教育委員会が知っておかなといけないということで、この届出があるんだと私どもは理解しておりますので、遅くても前日までには出していただかないといけませんし、今までも届けていただいたものに対してちょっと問題などがございましたら、これについてはどうですかということでお聞きしたりする事がありました。

林委員 前日の5時に持って行って、次の日の事と言われても、もうどうにもならないのでは。

西村こども夢づくり課長 基本的には分かった時点でということがまず第一でございます。前日というのがあるとしたら、元々届け出ているものが天気の都合などで止めになってそれから又次の日になるということはあると思うんですけども、基本的にはそういうものが考えられるかなと思っております。

山中教育長 お諮りいたします。

議案第10号について、原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第10号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 次に、議案第11号「総社市立学校職員服務規程の一部改正について」事務局から説明願います。

北川学校教育課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第11号について、質問はありませんか。

【質疑・答弁】

上岡委員 介護休暇は確か6ヶ月なんだけど、特例と認める場合には240日に延期できますよね。その場合も3回の分割が可能になったということなんですか。

北川学校教育課長 はい、そのように理解しています。

山中教育長 よろしいでしょうか。

お諮りいたします。議案第11号について原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第11号については原案のとおり可決しました。

北川学校教育課長 (議案第9号関連) 申し訳ございませんでした。先程の、定数が50から80名に増えることに伴いまして、中央小学校区の放課後児童クラブの増設にかかる資料でございます。まずはこちらの資料で、現在こちらのこの部分が50名の定員の施設であります。このマークが池であります。この池はすでにつぶされてなくなっておまして、この上に併設する形で新しい施設が建ちます。この兎小屋につきましてはそのまま温存して大丈夫ということであります。もう少し詳しく書いてあるのがこちらで、図が描いてあります。さらに3枚目は内部におきまして畳敷きの部屋あるいは静養室、トイレの間取り等についても分かるようになっております。以上でございます。

林委員 池の鯉はどうしたの。

西村子ども夢づくり課長 池の鯉は以前からいなかったです。

山中教育長 次に、議案第12号「総社市保育士支援金支給要綱の一部改正について」事務局から説明願います。

西村子ども夢づくり課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第12号について、質問はありませんか。

【質疑・答弁】

林委員 実際、施設長も不足しているんですかね。

西村子ども夢づくり課長 施設長で退職になられる方とかも年齢的にいらっしゃるんですけども、その方も続けていただいたりしています。施設長が不足しているかどうかと言われたら、保育士は不足しておりますけれども、というところはございます。

服部教育部長 経営者は理事長、園長先生が結構いらっしゃるんで、施設長は人がいなくても普通に出来ますので。

西村子ども夢づくり課長 保育士の方もいらっしゃいます。

服部教育部長 本当に保育士からなっいらっしゃる方もいらっしゃいます。いなくては困るんじゃ、経営者が自分が施設長ですっていったら済んでしまいますので、ですから足らなくはない。経営上は必ず理事長さんがおられますので。

西村子ども夢づくり課長 施設長は足らなくはないのですが、今いる方に辞めていただかな

くてもいいようにということです。

林委員 普通は理事長がいて、園長がいて。施設長っていうのはいったい。

西村こども夢づくり課長 園長です。

林委員 その人は雇われ園長とか。

西村こども夢づくり課長 雇われ園長で、ちょっと違う話になるんですが、処遇改善なども、そういう施設長は今まで対象ではなかったんですけども、来年度から施設長も対象にしましょうということで方向性が出ています。ですので、そういう施設長に対しても何らかの処遇はやっぱり安い部分もあるので、今回国のほうもプラスアルファにするような形で出ています。ただ総社市としては、今理事長や役員である人達にまでは差し上げなくてもよいかなど。雇用されている役員でない方には、処遇改善と同じような形で今度支給する方向で考えさせていただきたいということで、この要領の改正をさせていただきました。

林委員 当初、保育士が不足しているからそれに対して少しでもそういう人が足りないのでもそういう支給をして、人員を確保しようというねらい。それと施設長というのはどんなかなと思いつつながら。ざっと見た感じはそんな感じがしたんで。

米谷委員 園内の人間関係を潤滑するという意味で、というイメージで、僕はそうとっていいました。

山中教育長 他にご意見ありませんか。よろしいでしょうか。

山中教育長 お諮りいたします。

議案第12号について原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第12号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 では、私のほうから報告をいたします。今回は2件報告いたします。

まず1件目は、小・中学校の先生方の人事が今真っ只中で、後で校長の勤務評定がありますけれども、事務局が今一番忙しい状態で、ほとんど席にいない時もあります。

もう1件は、岡山県の都市教育長協議会のメンバーの研修で、福岡県の飯塚小学校に行きました。ここは学力が非常に高いということで、大体215平方キロで総社と同じぐらいの広さなんですけど、人口が13万ぐらいで総社市の2倍という感じなんです。この小学校は自然体でやっているという話ですけども、100マス計算の陰山メソッドと英語教育が特徴で、英語はフィリピンとネットで繋いで、子ども達がパソコンを見てやる、その2つを見せてもらいました。最初にスタートする時に、子ども達みんながお経読みのような感じで大きな声で、3分間ぐらい発声をしていました。それで脳の活性化をされていて、その後100マスに絵を描く。計算もある。そのスピードを上げていく、つまり脳を活性化して、脳内の反応スピードを上げる。それをやって随分成績が上がっているということなんですけど、教室に入った時にみんな大きな声で暗唱しているので、それは奇異な感じがしたんですけど、理には

叶っている。ただ学力だけ上げていいのだろうか。昔の一律教育で、個性が伸びるのかなとちょっと思いました。そういうやり方も一つのやり方ですが。心の教育、相手に敬意を表する、コミュニケーション能力を高める教育をやっておかないと。質問しようと思ったのですが校長先生がしゃべりっぱなしで時間がありませんでした。人間というのはバランスですからね。生きていく力というのはコミュニケーション能力が一番でしょうから。そういう意味ではちょっと奇異な感じがしますね。10年15年経ってどのぐらいこの子供達が成長するかと思いました。学力だけやってもね。それが感想でした。

山中教育長 次に報告事項に移りますが、まず「総社市学力調査について」事務局から説明願います。

下山学校教育課主幹【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

【質疑・答弁】

林委員 ちょっとショックなんですけども、総社市が力を入れたその英語でなぜ、こういうような結果になるのかなあといった時に、力を入れる部分が、ひよっとしたらずれているんじゃないかなという感じがするんですけどね。そうやってみれば総社が目指すその英語教育の部分で測ってやらないといけないんじゃないかというふうなことを思いますけども、その辺はどうですか、専門家として。

下山学校教育課主幹 専門家ではないのですが、やはりおっしゃる通りで、これは4技能全てを測るテストではないんです。この標準学力テストは、やはりリスニングとライティングのところ为中心で、スピーキングのところなんかは測れないテストです。GTECは3技能までだと思うんですけども、やっぱりどこの部分に重点を置くかという視点で言うと、この調査については対応できるだけの十分な力が定着できていないということは事実だと思っています。ただ一つ思うのは、大学入試が変わり高校入試が変わりという中で、どういうふうに変っていくのかっていうのをしっかり見ていく必要があるのと、全国調査も実は再来年度には英語の調査を初めてやろうとしています。30年度は予備調査として英語調査の試行をやってみるといふ動きも始まるので、どういった形で子供達の力を測っていけばいいのかということ、まだまだ業者も含めて試行、研究段階なのかなというふうには思っています。

上岡委員 僕もちょっとショックを受けていますね。前回の、秋に見せていただいた全国調査でもよかったので。調査を始めた市のテストの時と平成20年とか19年とか18年とか、だんとうで総社市の英語は高かったですよ。その頃は。だけど教育の力の力点を入れたところを測ってもらっていないというのは、僕はどうかと思う。見たら問題は単なる単語を知っているか基本的な文法の構造を知っているかだけの話でしょ。それが定着してないだけだからそりゃ言い訳にはならないでしょう。やっぱり授業がまずいとしか言いようがないですね。先生を責めても仕方がないんですけど。英語力を上げるための、書くこととか、文法の基本

的なことが出来ていないものなら、それを話せて言ったって話せないでしょ。読めないでしょ。単なる音と聞いている。外国語活動と違って教科で学んでいる英語は第2言語であっても文法構造をきちっと身に付けていないと論理的な説明は出来ないんですよ。その基礎の部分はやっぱり定着させるべきで、そういうところが足りなかったと言うのは事実で出る訳で。どういうふうな施策をされるかなと思って。

山中教育長 おっしゃる通りで、総社市は明らかに他市と比べて書く時間が短いです。他市で書くことの時間の多い所ほど点数が高いと聞いています。書くことをおろそかにしている。4技能をやればレベルは高いですけど、書くことを徹底的にやらないと、今の書く量の3倍ぐらいをやらないと脳が覚えられない。話しているだけでは駄目で、書くということがすごく大事です。

林委員 A L Tを手厚く登用して、おそらく聞くとか話すとそういう所はありますけれど、それに頼りきりで、案外そういった部分、直結するような部分が時間が掛足らないんじゃないか、いうふうな感じが私はします。

下山学校教育課主幹 校長会でも学力担当者会でもこれに衝撃を受けて、課題意識を先生方が持たれていて、基礎、基本に改めて戻らないといけないというような意見も会議の中で発言がありました。やはりそういうところも大事にしていきながらアクティブラーニングのような学習も入れながらということをやっつけていかないと、基礎基本をないがしろにはできないというようなことは出てきました。来年度総社市としても小・中連携をして英語教育に力を入れたいという動きを作ろうとはして早期から手を入れないといけないというふうには思っていて、英語特区だけではなくてしようとしています。

上岡委員 英語特区もそう高くなかったよ。高かったらそりゃ効果があったと言うかも分からんけど。デジタル教科書もいいんだけど、デジタル教科書とA L Tで、文字を見てわーって終わっているんじゃないかな。理解せずに。猛反省すべきです。

山中教育長 おっしゃる通りです。書いてないからこういう結果になった。そういうところを考えて、A L Tだけでやる教科と、分けてもよい。英語の先生を集めて議論してください。他市よりA L Tの比率がすごく高いので随分頼っている。

山中教育長 他にご意見ございましたら。よろしいでしょうか。

山中教育長 次に「第2次総社市教育振興基本計画について」事務局から説明願います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

【質疑・答弁】

上岡委員 ちょうど見たのが32ページ「確かな学力の育成と特色ある学校づくり」のところ、学校評価の中の意識調査なんですね。学校評価というのは何のためにやるのか、それと全体の学力向上を図るための指標を混同したらいけないと思います。前々から言っているんですけど、学校評価は自分の学校を改善する為にやる訳ですから。それが市の全体の学力向

上の基準になっちゃいけない訳でしょう。別にやるんなら分かるけど、そしたら学校評価は評価項目が市として強調して作られて、それをどの学校もやりなさいというのだったらそりゃ分かります。それをしないで、自分の学校を良くするために学校評価する訳で、その部分のアンケート評価をそのまま使われちゃたらんよという話ですよ。管理職としては。だから責任を持って市としてこの評価項目をやって頂戴と言うんだったら、学校評価じゃなくて別の指標の名前を出さんといけません。学校がものすごく責められる。本来の学校評価のあり方ではないということと指標の使い方が違うということだけを申し上げます。何回もお話したと思うんですよ。これについては。

弓取庶務課長 ありがとうございます。また調整させていただきたいと思います。

林委員 「学校運営協議会を設置する」というのは、0が7になる。小・中一貫教育の流れの中で運営協議会というのは出てきている。ただそれをしないでほしいというふうな形で一体型でやるんじゃなくて分散型でやろうとか色々あります。ほしいという方向に向かって行こうというふうに考えていらっしゃるんですね。

北川学校教育課長 ありがとうございます。五つ星学園、昭和地区の学校園につきましてはすでに地域連携協議会という形で実質、学校運営協議会のほうは設置していただいているというようになっております。ただ学校運営協議会というのはコミュニティスクールの中の文言で、どうしても人事権を含んだものというふうなとらえがあるものですから、それとは違いますよというニュアンスで最初に動き出している経緯があります。ただ文科省等のお話を聞かせてもらうと、総社流の学校運営協議会と呼んでいいような、そういう人事権に配慮した学校運営協議会を設置してもいいよというようなこともお聞きしているところでありますので、今特色ある教育を進めている地域におきましてはまずは学校運営協議会のほうを設置させていただくと。具体的に言いますと昭和地区、新本地区、池田地区の小学校、あるいは幼稚園等につきましては運営協議会をまずは導入いたしまして、その他の小、中学校等につきましても、順次そういうことが可能であれば考えて行くということは考えています。

山中教育長 人事権を含めた運営協議会をやる気は全くありません。それはサポートシステムであって、本当にそれをやるのであれば教育委員会が校長に人事権を渡す。それを手足縛っておいては無理です。権限というものはそういうもので、予算権と人事権を渡さないというのは校長の人事権を渡す意味がない。全くやる気はありません。ヨーロッパとかアメリカとかオーストラリアはそれはそれなりの立場でそういう法的にもきちっと守られている。それをサポートするシステムもちゃんとありますが、日本にはそれがない。それだけやってもしょうがない。それよりもやっぱり中学校区で緩やかに皆で話し合っって一つの目標に進んでいくようなシステムのほうが僕はいいと思います。それを超えてその次のステップに行くんだったら人事権と予算権を渡すと。それしかない。

上岡委員 趣旨は賛同します。ただ名前としたら、学校運営協議会という名前は総社市独自の名前にすべきだと思います。

山中教育長 名は体を表していない。

上岡委員 そうなんです。それと今はもう隣の大きい市も3学期制に戻りましたが、これをやることを目的化したんですよ2学期制は。結局3学期制になったでしょう。同じなんですよこれも。だから総社市独自の名前で行くべきだと思います。

林委員 きらめき交付金のいい流れで、その中で考えていくのがいいのでは。

山中教育長 その中でやったほうがいいです。人事権とフリーのお金を渡さないと。そうしないとシステムがすごく非効率です。

山中教育長 他にご意見等はありませんか。

米谷委員 最初の2ページの表では、平成30年から第2次教育振興基本計画。総合計画は28年からの5年計画というふうになっています。その辺りの整合性をとっておいたほうが。

山中教育長 平成30年からの5年間でいいのでは。

弓取庶務課長 こここもご意見の分かれるところだと思いますが、総合計画が5年間で前期のものが終了いたしますので、ここの整合性も合わせてという意味で、今回の計画も2年間空白がありますが、3年計画にさせていただきたいと思っております。

山中教育長 5年掛けてやるかどうか議論すべきでしょう。

林委員 普通は市の総合計画と連動している。それをやっぱり意識しているんですね。

山中教育長 市の計画の中に全部入っているのだから、実質は何かということを考えて形ばっかりやっては駄目で、その辺の議論は教育委員さんの理解を得てやらないといけないうでしょう。

林委員 普通は教育のことがあって、それを盛り込んでいる計画が市の計画の中に入っていくというか。そんな感じですかね。

弓取庶務課長 大きい山に総合計画と言うものがございまして、それに基づいた下部計画という形になりますので。本当ならそこで一緒に作るべきというところですよ。

林委員 教育が出来て、それをやって行くという話で、そこで2年経ったけど、良くなればいいです。

山中教育長 他にご意見等はありませんか。

弓取庶務課長 前回会議で、7月14日から駅南という町名が出来ることに伴い、郵便番号がどうなるかという話がありました。駅南1丁目、2丁目がございます、郵便番号が719-1137という番号になりますので報告させていただきます。

三宅委員 【インフルエンザの感染状況を報告した。】

山中教育長 では最後になりましたが、承認第1号「校長の勤務評価について」の審議に入ります。本件については、人事に関する案件であり、非公開といたしたいと思っております、いかがでしょうか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、本件の審議は非公開といたします。関係職員以外

は退席願います。

【こども夢づくり課長・生涯学習課長・文化課長退席】

山中教育長 では、承認第1号「校長の勤務評価について」事務局から説明願います。

山中教育長 3月の教育委員会の日程についてであります。議会の日程が来週月曜に決定のため、第1回目の日程についてはまだ決定できませんが、候補日となっている3月8日、9日、12日のいずれかで開催することとし、決定次第、事務局から連絡願います。第2回目については、3月22日午後2時から開催いたしますので、ご参集願います。

山中教育長 この際、4月教育委員会の日程について事務局から提案願います。

(4月の教育委員会について日程調整)

山中教育長 では、4月の教育委員会は、4月16日 午後2時00分から開催いたします。では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午後3時52分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員